



餅つきの実演と子供向けお菓子教室を開催

～春の地場産業まつりでPR～ 山梨県菓子工業組合

2月23～25日に山梨県地場産業センターかいてらすで「春の地場産業まつり」が開催され、菓子、ジュエリー、絹織物、印伝、漬物などの業界組合が多数出展し、地場産業体験コーナー、ミニコンサート、お楽しみ抽選会などの盛りだくさんのイベントが開催された。

山梨県菓子工業組合(内田長久理事長 組合員73社)が実施した子供向けお菓子教室には、土日の2日間で延べ50人の子供たちが参加する盛況なイベントとなった。



熱心にお菓子づくりをする子供たち

菓子組合の組合員の洋菓子や和菓子店は、消費者の嗜好の変化やチェーン店の影響により年々減少している。こうした中で、組合では技術講習会を開催し消費者ニーズに対応した新作を製造するヒントを組合員に提供するとともに、地場産業まつりなどのイベントで、地元の和菓子・洋菓子店の認

知度を広げる取り組みを進めている。

地場産業まつりへの出展は、例年行っている福袋や袋菓子のセット販売と前回好評だった餅つき実演を一日二回から三回に増やしたのに加え、土日には子供お菓子教室を開催した。

餅つきの光景を近年はめったに目にすることがなくなっていることもあり、かけ声を出して餅つきを始めると多くの人だかりができるなど、初めての光景に目を見開く子供も多かった。また、子供お菓子教室では、昔ながらの桜餅とチョコレートのかわりに餡を使ったドライフルーツ入りの餡玉トリュフづくりを行ったが、子供たちは、職人の話に熱心に耳を傾け、見よう見まねで自慢の逸品を作っていた。

組合では、内田理事長を中心に「あなたの町のお菓子屋さん」を知ってもらい、親しんでもらえるよう活動を引き続き行い、業界の継続発展を目指していく。



餅つきをする内田理事長